

2021年度

(第11事業年度)

事業報告書

2021年 1月 1日から

2021年 12月 31日まで

公益財団法人三島海雲記念財団

## 2021 年度事業報告及びその附属明細書

### 1. 2021 年度事業報告

2021 年度は、定款に定める公益目的事業（学術研究奨励事業）に基づき、第 59 回「学術研究奨励金」の贈呈及び第 10 回「三島海雲学術賞」の贈呈並びに「学術活動支援」に係る学術研究奨励事業を行いました。

#### 1) 学術研究奨励金事業（助成）

本事業は自然科学と人文科学の学術研究において、将来の発展が期待できる優れた研究を支援することを目的としています。

##### (1) 対象とする学術研究分野

(イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する学術研究

「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学部門 : アジア地域を対象とし、史学、哲学、文学を中心とする人文社会科学分野における学術研究(但し、日本を中心とする研究は除く)

##### (2) 対象とする研究者及び研究グループ

上記学術研究分野の個人研究者及び複数の研究機関又は異なる部局の研究者が共通の課題について研究する共同研究グループ

##### (3) 応募資格

###### (A) 個人研究奨励金

(1) 日本在住の研究者（国籍は問わない）及び海外在住の日本人研究者

(2) 上記(1)には、大学院博士課程後期在籍者（及びそれに相当する大学院生）を含みます。

(3) 年齢制限は有りませんが、若手研究者及び女性研究者の積極的応募を期待します。

###### (B) 共同研究奨励金

(1) 共同研究の代表研究者とします。

代表研究者は、複数の研究機関又は異なる部局の研究者が、共通の課題について、共同して行う研究組織を代表し、計画の推進、取りまとめ等に責任をもって遂行できるものとします。

(2) 代表研究者は国内の大学、研究機関に所属することとします。なお、共同研究者の国籍所属研究機関の所在地(海外も可)を問いません。

(3) 共同研究者は、代表研究者と異なる外部研究機関あるいは部局に所属していることを必要とします。

(4) また、原則、分担研究費が 100 万円以上の共同研究者が一名以上加わることを必要とします。

##### (4) 推薦者

(1) 所属機関の部局長(所属長)、または、これに準ずる方の推薦を必要とします。

大学院生の場合は指導教官も可とします。

(2) 個人研究奨励金の推薦件数は複数を可とします。

共同研究奨励金の推薦件数は一推薦者につき 1 件とします。

##### (5) 応募方法

応募には電子登録と申請書による申請が必要となります。

(6) 応募期間

申請書の受付期間 2021年1月12日～2月26日(必着)

(7) 選考方法

学術委員からなる選考委員会の選考を経て理事会で決定しました。

(8) 奨励金の採択結果

(A) 「個人研究奨励金」

①応募件数 自然科学部門 236件、人文科学部門 71件、計 307件(前年比 94%)

②採択件数 自然科学部門 54件、人文科学部門 16件 計 70件(採択率 23%)

※女性及び大学院生の構成比：自然科学部門 応募 34%、採択 37%

人文科学部門 応募 70%、採択 94%

③贈呈金額 1件当たり 100万円、総額 7,000万円

④助成期間 原則として、毎年7月から翌年6月の1年間

(B) 「共同研究奨励金」

①応募件数 自然科学部門 23件、人文科学部門 4件、計 27件(前年比 113%)

②採択件数 自然科学部門 3件、人文科学部門 1件 計 4件(採択率 15%)

③贈呈金額 1件あたり 452万円～500万円、総額 1,952万円

④助成期間 原則として、毎年7月から翌年6月の1年間

(9) 選考結果の通知

贈呈年度6月中旬までに書面にて申請者宛に通知しました。

(10) 助成金の贈呈

7月上旬までに、申請者及び共同研究奨励金の分担研究者が指定する口座に一括交付しました。

新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、従来の集合形式の贈呈式に代えて、7月7日に贈呈式を収録し、7月20日からホームページ上にて公開しました。

## 2) 三島海雲学術賞事業(褒賞)

本賞は、自然科学及び人文科学の学術研究領域において、とりわけ、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究の発展を支援してゆくことを目的としています。

(1) 対象分野

(イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する研究

「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学部門 : アジア地域の歴史を中心とする人文科学に関する研究

(但し、日本を中心とする研究は除く)

(2) 候補者の資格

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により独創的で発展性のある顕著な業績を挙げている者のうち、下記の条件を満たす若手研究者。

(イ) 45歳未満の者(2021年4月1日現在)

(ロ) 人文科学部門は、直近2年間(2018年8月から2020年9月)に刊行された著書(単著)を有する者

(ハ) 日本在住の研究者(国籍は問いません)及び海外在住の日本人研究者(日本国籍を有するもの)

- (3) 推薦者
  - (イ) 本財団より推薦依頼を受けた学会及び大学等研究機関(部局)の代表者
  - (ロ) 本財団より推薦依頼を受けた出版社の部門代表者
  - (ハ) 本財団の理事並びに評議員(但し、選考委員を除く)
- (4) 推薦期間
  - 2020年8月1日～同年10月31日(当日の消印有効)
- (5) 選考方法
  - 学術委員からなる選考委員会の選考を経て理事会で決定しました。
- (6) 受賞者の決定
  - ①応募件数 自然科学部門 11件(6)、人文科学部門 6件(12)、計 17件(20) (内前年度)
  - ②採択件数 自然科学部門 2件、人文科学部門 1件 計 3件
  - ③贈呈金額 1件あたり 200万円、総額 600万円
- (7) 結果の通知
  - 採否の結果は、2021年5月下旬までに候補者及び推薦者に通知しました。
- (8) 贈呈式
  - 新型コロナの感染状況を勘案し、従来の集合形式の贈呈式に代えて、7月7日に贈呈式ならびに受賞記念講演を収録し、7月20日からホームページ上にて公開しました。

### 3) 学術活動支援事業(助成)

本事業は、大学、研究機関、学会などが主催する特定テーマの比較的小規模で国際的なセミナー、シンポジウム、講演会、研修会などの学術活動に対して支援するものです。

- (1) 対象学術活動
  - (イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する学術活動  
 「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究
  - (ロ) 人文科学部門 : アジア地域を対象とし、哲学、史学、文学を中心とする人文社会科学分野における学術活動(但し、日本を中心とする研究は除く)

国内で開催される海外からの参加者を含む国際的な上記学術活動で、クローズドな活動でなく外部/新たな参加者を認めるもの

なお、学術集会のうち定例的な年会や季会、および、大きな大会の一部として開催される分科会や地方支部の学術集会は原則として対象外とします。

また、同一の学術活動への助成は年度内に1回だけとします。

- (2) 応募資格者 学術活動の責任者又は主催者
  - なお、当財団の関係者は原則として対象外とします。
- (3) 助成金額
  - (イ) 1件 50万円を上限。活動等の規模等に応じて当財団が助成額を決定。
  - (ロ) 用途は、学術活動の準備・運営に掛かる一切の費用  
 なお、応募状況、審議の結果、該当者なしの場合もあります。
- (4) 応募方法
  - 財団所定の申請書(Word版、財団ホームページから入手可)に必要事項を記入の上、申請書及び補足資料(趣意書、開催案内等)を事務局宛に郵送してください。

## (5) 申請受付期間

申込区分	受付期間	採否通知
I 期	1 月～ 4 月	7 月上旬
II 期	5 月～10 月	翌年 1 月上旬

## (6) 選考

(イ) 採択は理事会が決定します。

(ロ) 選考基準として以下を考慮します。

- ① 当財団の事業目的に沿ったもの
- ② 国際的な活動で、学術性が高いもの
- ③ 小規模・予算が少ないもので、国や企業等の補助や助成を得にくいもの
- ④ 若手や海外からの参加者が多いもの

## (7) 採択結果

2020 年第 II 期 応募なし

2021 年第 I 期 応募 3 件 採択 3 件 (自然科学 2 件、人文科学 1 件) 支給額 150 万円

注) 2021 年度 II 期分は選考期間の関係で 2022 年度の支給となっています。

## (8) 選考結果の通知

書面にて学術活動の責任者又は主催者に通知しました。

表 1 2021 年度学術研究奨励金及び褒賞事業等 累計実績 (1963 年(S38)～2021 年)

事業	部門	2021 年度 (当年度)		累計		備考
		件数	贈呈金額	件数	贈呈金額	
(1) 三島海雲学術賞	自然科学部門	2 件	400 万円	19 件	3,800 万円	2012 (H24) 年～
	人文科学部門	1 件	200 万円	10 件	1,900 万円	
三島海雲学術賞計 (褒賞)		3 件	600 万円	29 件	5,700 万円	
(2) 学術研究奨励金						
(A) 個人研究奨励金	自然科学部門	54 件	5,400 万円	1,312 件	100,705 万円	1963 (S38) 年～
	人文科学部門	16 件	1,600 万円	727 件	48,792 万円	
小計		70 件	7,000 万円	2,039 件	149,497 万円	
(B) 共同研究奨励金	自然科学部門	3 件	1,500 万円	15 件	7,480 万円	2015 (H27) 年～
	人文科学部門	1 件	452 万円	9 件	3,183 万円	
小計		4 件	1,952 万円	24 件	10,663 万円	
学術研究奨励金計 (助成)		74 件	8,952 万円	2,063 件	160,160 万円	
(3) 学術活動支援金 (助成)		3 件	150 万円	24 件	1,130 万円	2013 (H25) 年～「その他研究支援」 2016 (H28) 年～「学術活動支援」
(4) 大学院博士課程奨学金		- 件	- 万円	延27 件	2,600 万円	2004 (H16)～2012 (H24) 年終了
合計		80 件	9,702 万円	2,143 件	169,590 万円	

\*2021 年度学術研究奨励金は贈呈後返却された 100 万円を含む。(個人研究奨励金の受贈者 1 名において、研究機関を退職し研究を中止したため、奨励金 100 万円の返却あり。)

各事業の贈呈者及び助成実績推移等は以下の資料を参照下さい。

付表 1. 第 59 回 (2021 年度) 学術研究奨励金 贈呈者一覧 (5～8 頁)

付表 2. 第 10 回 (2021 年度) 三島海雲学術賞 受賞者 (9 頁)

付表 3. 2021 年度学術活動支援 贈呈一覧 (9 頁)

付表 4. 学術研究奨励金 助成推移 (10 頁)

付図 1. 学術研究奨励金 助成推移 (11 頁)

## (付表1)

## 第59回(2021年度) 学術研究奨励金 贈呈者一覧(自然科学部門)

## 【個人研究奨励金】

No	「食の科学」 との関連	対象 分野	研究課題	氏名	所属機関名称	役職	年 齢	性 別	贈呈額 (万円)
1	栄養・嗜好 ・生理機能	医学	小胞体ストレス研究の新機軸から挑む「食べ過ぎ」行動を誘発する分子メカニズムの解明	赤井 良子	金沢医科大学総合医学研究所 生命科学研究領域 細胞医学研究分野	助手	43	女性	100
2	疾病予防	医学	乾癬・乾癬性関節炎の病態形成におけるメタボリック症候群および高脂肪食・ショ糖負荷の影響の検討	赤木 貴彦	川崎医科大学 リウマチ膠原病学	博士 課程	32	男性	100
3	疾病予防	医学	中鎖脂肪酸の腸管上皮幹細胞に与える影響の解明とその疾患への応用	五十嵐 正樹	東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科	助教	44	男性	100
4	疾病予防	農学	12 $\alpha$ 水酸化一次胆汁酸による小腸粘膜バリア脆弱化機構-免疫応答への波及効果-	石塚 敏	北海道大学大学院 農学研究基盤研究部門 生物機能化学分野	教授	53	男性	100
5	疾病予防	薬学	胎盤関門トリプトファン動態の再構築に基づく妊娠初期栄養インデックスの確立	稲垣 舞	徳島大学大学院 医歯薬学研究部(薬学域)	助教	30	女性	100
6	栄養・嗜好 ・生理機能	医学	食塩負荷が腸管神経叢に与える影響と腸管グリアのNa <sup>+</sup> センサーNa <sub>x</sub> の役割	井上 浩一	名古屋市立大学 医学研究科	准教授	50	男性	100
7	栄養・嗜好 ・生理機能	農学	転移性因子を利用した茶の二次代謝産物を制御するゲノム選抜育種に向けた研究	岩淵 望	東京大学大学院 農学生命科学研究科	特任 研究員	29	男性	100
8	疾病予防	医学	小児期から思春期の食事、肥満と腸内細菌叢、腫瘍免疫、がん罹患リスクの統合解析	鵜飼 知高	ハーバード公衆衛生大学院 疫学部 プリガムアンドウィメンズ病院病理部	博士 研究員	37	男性	100
9	疾病予防	医学	味覚・嗅覚統合中枢のコリン作動性調節機構の解明	内田 さえ	東京都健康長寿医療センター研 究所 自律神経機能研究室	専門 副部長	50	女性	100
10	疾病予防	化学	食の安全管理を目標としたフォトリックウィルスセンサー	内田 紀之	東京農工大学	特任 助教	36	男性	100
11	食品素材	ゲノム 科学	鮎ずしの原料となるニゴロブナ品種改良を目指したゲノム基盤解析	大森 義裕	長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科	教授	49	男性	100
12	疾病予防	化学	殺菌・疫病予防に向けた有機レドックス高分子による過酸化水素のその場製造法の開発	岡 弘樹	早稲田大学 理工学術院	博士 課程	26	男性	100
13	食の安全	農学	食中毒原因菌 <i>Campylobacter jejuni</i> の休眠に関わる「スイッチ」の同定	岡田 彩加	岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学科	助教	32	女性	100
14	疾病予防	生物学	ISG15修飾に影響を及ぼす食品成分の探索	奥村 文彦	福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科	准教授 (独立)	44	男性	100
15	疾病予防	農学	バイオマーカーへの応用を目指した細胞膜構成物質プラスマローゲン類の網羅的合成	小倉 由資	東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻	准教授	37	男性	100
16	疾病予防	生活科学	社会の高齢化と近代化を見据えたビタミンDの新たな栄養状態評価指標の確立	越智 小枝	東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座	准教授	46	女性	100
17	疾病予防	医学	日本版栄養プロファイリングの構築とそれを用いた栄養価指数による寿命への影響	櫻野 いく子	国立国際医療研究センター 疫学・予防研究部	客員 研究員	39	女性	100
18	疾病予防	医学	食物アレルギー発症機序における好塩基球を標的とした短鎖脂肪酸の影響	柏倉 淳一	北海道大学大学院 薬学研究院 衛生化学研究室	講師	46	男性	100
19	栄養・嗜好 ・生理機能	歯学	乳児期の虐待(ネグレクト)が成人期の摂食関連機能不全を惹起する中枢神経機序の解明	片桐 綾乃	大阪大学大学院 歯学研究科	講師	44	女性	100
20	疾病予防	医学	食品由来多糖を用いた歯周炎に関連する糖尿病増悪予防法の開発	栗原 令	広島大学大学院 医学系研究科(歯) 生体材料学分野	助教	31	女性	100

【個人研究奨励金】

No	「食の科学」 との関連	対象 分野	研究課題	氏名	所属機関名称	役職	年 齢	性 別	贈呈額 (万円)
21	栄養・嗜好 ・生理機能	医学	腸内細菌の二次代謝産物を介した認知症予防に関する検討	後藤 孔郎	大分大学 医学部 内分泌代謝・膠原病・ 腎臓内科学講座	講師	51	男性	100
22	食品素材	農学	鶏卵のアミノ酸プロファイル変化に寄与する腸内細菌叢	後藤 達彦	帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研 究センター	助教	36	男性	100
23	疾病予防	医学	新規乳酸菌X株がもたらすウイルス感染抵抗性の増強における免疫学的メカニズムの解明	齋藤 卓	自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座ウイ ルス学部門	助教	38	男性	100
24	食の安全	薬学	腎薬物トランスポーターOATP4C1におけるフラボノイド類-薬物相互作用解析	佐藤 紀宏	東北大学病院	助教	38	男性	100
25	疾病予防	医学	ヒトにおけるロスマリン酸の抗アルツハイマー病効果の分子生物学的作用機序解明	篠原 もえ子	金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科	特任 准教授	44	女性	100
26	疾病予防	農学	抗原特異性に着目した乳酸菌の経口免疫寛容強化の検討	島津 朋之	宮城大学 食産業学群	助教	40	男性	100
27	疾病予防	生活科学	ブドウ球菌毒素が糖尿病宿主に炎症を誘導する機構の解明とポリフェノールによる制御	島村 裕子	静岡県立大学 食品栄養環境科学研究院 食品衛生学研究室	助教	41	女性	100
28	疾病予防	農学	食品に含まれる生理活性を持つインドール化合物の骨代謝に関する研究	鈴木 信雄	金沢大学 環日本海域環境研究センター 臨海実験施設	教授	56	男性	100
29	疾病予防	医学	腸内細菌代謝経路同定のためのゲノムワイドスクリーニング法の確立と疾患制御への応用	關場 一磨	東京大学大学院 医学系研究科 消化器内科学	JSPS特別研 究員(PD)	34	男性	100
30	発酵・微 生物利用	農学	酵母と酢酸菌の希少糖類を介した共生メカニズムの解析と発酵食品への利用	竹川 薫	九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門	教授	59	男性	100
31	栄養・嗜好 ・生理機能	生体 分子科 学	ビタミンDラクトンによるエネルギー代謝調節機構の解明	竹本 靖	京都大学 化学研究所	助教	43	男性	100
32	疾病予防	神経科学	抗炎症作用を示すコーヒー成分の同定とコーヒーによる神経変性疾患の予防効果の解明	多胡 めぐみ	慶應義塾大学 薬学部 衛生化学講座	教授	45	女性	100
33	栄養・嗜好 ・生理機能	医学	ストレスによる母乳中マイクロRNA組成の変化と、乳児の消化管発達機能への影響	千葉 健史	北海道科学大学 薬学部 臨床薬学部門 臨床薬剤学分野	講師	44	男性	100
34	疾病予防	医学	New dietary approach to prevent brain atrophy in non-demented Japanese community dwellers: a 10-year longitudinal MRI study	張 妹	国立長寿医療研究センター NILS-LSA活用研究室	流動 研究員	32	女性	100
35	栄養・嗜好 ・生理機能	薬学	n-3 系多価不飽和脂肪酸による疼痛制御に関与する受容体シグナル機構の解明	徳山 尚吾	神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室	教授	60	男性	100
36	疾病予防	生活科学	老化に伴う全身の生理機能低下に対するネギの効果とその作用機序	豊田 集	高崎健康福祉大学 農学部 生物生産学科	助手	34	女性	100
37	疾病予防	農学	弱毒生ワクチン開発を目指した牛コロナウイルス遺伝子操作系の確立	中川 敬介	岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学科	准教授	36	男性	100
38	発酵・微 生物利用	農学	食用キノコ発酵処理による植物未利用資源の飼料化技術開発	中川 敏法	滋賀県立大学 環境科学部 生物資源管理学科	講師	37	男性	100
39	発酵・微 生物利用	農学	なれずし：発酵菌叢制御と地域文化的背景から考察する発酵技術の進化と成立	中川 智行	岐阜大学 応用生物科学部 応用生命科学課程	教授	50	男性	100
40	栄養・嗜好 ・生理機能	農学	腸内生態系による哺乳類の嗜好性制御機構解明	長阪 玲子	東京海洋大学 学術研究院 食品生産科学部門	助教	42	女性	100

【個人研究奨励金】

No	「食の科学」 との関連	対象 分野	研究課題	氏名	所属機関名称	役職	年 齢	性 別	贈呈額 (万円)
41	栄養・嗜好 ・生理機能	農学	海藻の鉄吸収に関わる分子及びその遺伝子発現制御メカニズムの解明	中西 啓仁	東京大学大学院 農学生命科学研究科	准教授	51	男性	100
42	疾病予防	医学	母乳によるM細胞分化制御が、子供の腸管環境発達および疾患感受性に与える影響の解析	中村 有孝	慶應義塾大学 薬学部 生化学講座	特任 助教	31	男性	100
43	栄養・嗜好 ・生理機能	農学	消化管内分泌系を介した食嗜好性の調節	比良 徹	北海道大学大学院 農学研究院基盤研究部門 生物機能化学分野	准教授	48	男性	100
44	疾病予防	腫瘍学	ビタミンKサイクルによる脳腫瘍グリオブラストーマの制御メカニズムの解明	深澤 和也	岐阜薬科大学 機能分子学大講座 薬理学研究室	博士 課程	27	男性	100
45	栄養・嗜好 ・生理機能	医学	カシス抽出物を用いた新規食品機能としてのエクソソーム様粒子（ENP）内在miRNAの探索	堀江 香代	弘前大学大学院 保健学研究科 生体検査科学領域	助教	48	女性	100
46	疾病予防	医学	NASH 自然発症モデルマウスの病態解明と抗酸化食品成分による予防効果	本間 拓二郎	山形大学大学院 医学系研究科 生化学分子生物学講座	助教	36	男性	100
47	疾病予防	医学	呼吸器疾患の予防と治療を目的とした食事栄養指導デジタルツールの開発	正木 克宜	慶應義塾大学 医学部 内科学（呼吸器）	助教	38	男性	100
48	疾病予防	薬学	生活習慣病時の血管機能に対する腸内細菌代謝物の影響	松本 貴之	星薬科大学	准教授	45	男性	100
49	疾病予防	医学	消化管ホルモンGLP-1を介した海藻由来βグルカン摂取による血圧上昇抑制効果	丸山 紗季	神戸女子大学大学院 家政学研究科 食物栄養学専攻	博士 課程	28	女性	100
50	食の安全	農学	ゲノム編集ニワトリ技術を応用した抗ウイルス素材開発研究	迎 武紘	産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門	研究員	32	男性	100
51	疾病予防	薬学	口腔・腸内Streptococcus属と動脈硬化病変との関連解明	向田 昌司	岡山理科大学 獣医学部 獣医学科	助教	37	男性	100
52	疾病予防	歯学	胎内栄養環境に規定される生活習慣病要因形成メカニズムの解析	安河内 友世	九州大学大学院 歯学研究院 OBT研究センター	准教授	42	女性	100
53	発酵・微生物利用	農学	藻食性魚類腸内微生物を活用した海藻資源化酵素の探索と利用	吉田 真明	島根大学 学術研究院 農生命科学系	准教授	39	男性	100
54	栄養・嗜好 ・生理機能	農学	食品由来多糖組成物の免疫賦活作用の検証とその応用	渡辺 章夫	十文字学園女子大学 人間生活学部 食品開発学科	専任 講師	43	男性	100
自然科学部門 応募件数 236件					贈呈件数 54件	贈呈金額 5,400万円			

【共同研究奨励金】

No	「食の科学」 との関連	対象 分野	研究課題	代表 研究者	所属機関名称	役職	年 齢	共同 研究者数	贈呈額 (万円)
1	その他	神経科学	鼻腔炎症に起因する脳腸関連の変動及び摂食行動の変化	石井 さなえ	杏林大学 保健学部 臨床検査技術学科	准教授	44	4人	500
2	栄養・嗜好 ・生理機能	農学	霊長類消化器における栄養素と危険物の化学受容機構の解明	岩槻 健	東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科	教授	50	2人	500
3	疾病予防	農学	腸内細菌代謝産物脂肪酸による免疫関連疾患制御の分子免疫学的解析	西山 千春	東京理科大学 基礎工学部 生物工学科	教授	55	2人	500
自然科学部門 応募件数 23件					贈呈件数 3件	贈呈金額 1,500万円			

第59回(2021年度) 学術研究奨励金 贈呈者一覧(人文科学部門)

【個人研究奨励金】

No	対象分野	研究課題	氏名	所属機関名称	役職	年齢	性別	贈呈額 (万円)
1	史学	清末における禁書再刊の研究	尹 敏志	京都大学大学院 文学研究科	博士課程	32	男性	100
2	史学	西北インドにおける弥勒信仰の形成と伝播：兜率天を視座として	打本 和音	龍谷大学 ジェンダーと宗教研究センター	博士 研究員	35	女性	100
3	史学	清代初期の刑罰制度における実刑主義の定着	KIM HANBARK	京都大学大学院 文学研究科	博士課程	34	男性	100
4	史学	近代中国における医療宣教モデルから現代医学教育モデルへ：北京協和医学院を中心に	瞿 艶丹	京都大学 人文科学研究所	人文学連 携研究者	32	女性	100
5	地域研究	アンコール遺跡群の保存理念生成とツーリズム拠点・シムリアアップの形成史	黒岩 千尋	早稲田大学 理工学術院総合研究所	研究員	29	女性	100
6	社会学	エリート大学生世代のメディア進出と都市新中間層の文化形成：『上海壹週』を中心に	呉 江城	京都大学大学院 教育学研究科	博士課程	27	男性	100
7	人文地理学	20世紀における中国江淮流域の救済景観	黄 崢崢	京都大学大学院 人間・環境学研究科	博士課程	28	男性	100
8	史学	西洋人医師の東アジア植民地観—ジェームズ・カントリーを例として—	小堀 慎悟	京都大学大学院 文学研究科	博士課程	29	男性	100
9	芸術学	模刻制作を通じた-奈良時代と唐代の乾漆技法の構造技法研究	朱 若麟	東京藝術大学大学院 美術研究科 文化財保存学 保存修復彫刻研究室	博士課程	33	男性	100
10	言語学	「嚙兌新字典」における小児錦表記と表記系統	高田 友紀	国際日本文化研究センター	機関 研究員	33	女性	100
11	文化人類学	ヨモギ利用の歴史民俗誌：韓国における医食同源の視点から	諸 昭喜	国立民族学博物館 学術資源研究開発センター	助教	41	女性	100
12	文化人類学	内モンゴル自治区の東部地域における牧畜経営の変化に関する人類学的研究 一定住・農耕化したモンゴル人を事例として	包 双月	東北大学大学院 文学研究科	博士課程	33	女性	100
13	文化人類学	内モンゴルにおける日本の家畜品種改良事業の試みについて—主に三島海雲の内モンゴル地域における綿羊品種改良活動を中心に—	包 嶺小	滋賀県立大学大学院 人間文化学研究所地域文化学専攻	博士課程	33	女性	100
14	政治学	「アジア」とは何か？：日中におけるアジアの境界認識と外交政策の実証分析	宮野 紗由美	プリンストン大学 Department of Politics	博士課程	28	女性	100
15	史学	20世紀前半における中国水産人材の育成およびその活動—漁民救済・海賊対処を中心に	楊 峻懿	京都大学大学院 人間・環境学研究科	博士課程	30	男性	100
16	哲学	インド仏教における世親以後の有部教学の展開：玄奘門下の俱舎論注を用いた研究	横山 剛	岐阜大学 高等研究院	特任助教	36	男性	100
				贈呈件数 16件	贈呈金額 1,600万円			

【共同研究奨励金】

No	対象分野	研究課題	氏名	所属機関名称	役職	年齢	共同 研究者数	贈呈額 (万円)
1	芸術学	モンゴル装飾文様アーカイブの創造—北方モンゴロイドから縄文・アイヌ文様へ	深津 裕子	多摩美術大学 美術学部共通教育	教授	55	6人	452
人文科学部門 応募件数 4件				贈呈件数 1件	贈呈金額 452万円			

人文科学部門 贈呈金額合計 2,052万円  
(所属・役職は申請時、五十音順、敬称略)

(付表2)

## 第10回(2021年度)三島海雲学術賞 受賞者

## 【自然科学部門】

受賞者	受賞テーマ	所属機関	役職	年齢	推薦者	副賞 (万円)
中島 健一郎	味覚の脳内伝達とその調節に寄与する神経機構の解明	自然科学研究機構 生理学研究所 生殖・内分泌系発達機構 研究部門	准教授	40	自然科学研究機構 生理学研究所 所長	200
三好 規之	食品機能を評価する生体指標開発	静岡県立大学 食品栄養科学部 生化学研究室	准教授	44	公益社団法人 日本農芸化学会 会長	200

## 【人文科学部門】

受賞者	著書	所属機関	役職	年齢	推薦者	副賞 (万円)
関 智英	対日協力者の政治構想 - 日中戦争とその前後 - (名古屋大学出版会)	津田塾大学 学芸学部	准教授	43	名古屋大学出版会 専務理事・編集部長	200

(所属機関・役職は申請時)

(付表3)

## 2021年度 学術活動支援 贈呈一覧

活動の名称	2021年 第I期		
	日本味と匂学会第55回大会	第11回アジア乳酸菌学会	日中韓女性史国際シンポジウム
部門	自然科学部門	自然科学部門	人文科学部門
開催責任者	九州大学 歯学院 口腔機能解析学分野 教授 重村憲徳	日本乳酸菌学会 会長 片倉啓雄 関西大学 化学生命工学部 教授	駿河台大学 名誉教授 前山加奈子
開催時期	2021年9月22～24日	2021年11月5～6日	2022年3月26～27日
開催場所・形式	九州大学医学部百年記念講堂 (福岡市)	オンライン開催 (状況次第で一部現地(東京)と オンラインのハイブリッド 開催)	早稲田大学文学学術院 (東京都) 日中韓をオンラインで つないで開催
参加予定者数	400名 (内、海外約20名)	250名 (内、海外約100名)	60名 (内、海外から約15名)
助成金額	50万円	50万円	50万円

(付表4)

## 学術研究奨励金 助成推移

第1回(1963年(昭和38年))～第59回(2021年(令和3年))

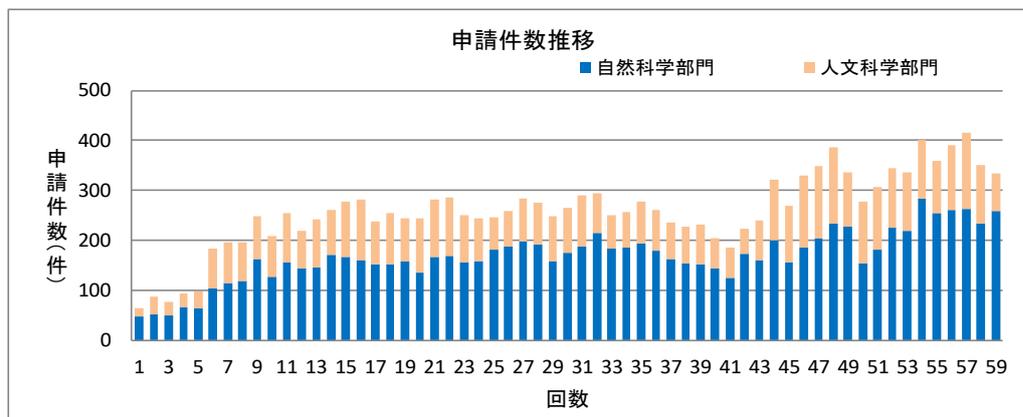
(第53回～共同研究含む、奨学金、学術賞、学術活動支援を除く) (単位:金額 万円)

区分			学術研究奨励金(個人研究+共同研究)											
部門			自然科学				人文科学				合計			
回数	年度		申請件数	採択件数	採択率	贈呈金額	申請件数	採択件数	採択率	贈呈金額	申請件数	採択件数	採択率	贈呈金額
1	昭和38	1963	48	2	4.2	149	16	1	6.3	1,000	64	3	4.7	1,149
2	39	1964	53	5	9.4	503	35	5	14.3	310	88	10	11.4	813
3	40	1965	49	7	14.3	435	28	4	14.3	250	77	11	14.3	685
4	41	1966	67	9	13.4	558	27	6	22.2	300	94	15	16.0	858
5	42	1967	64	14	21.9	1,830	35	6	17.1	310	99	20	20.2	2,140
6	43	1968	105	20	19.0	1,210	78	11	14.1	550	183	31	16.9	1,760
7	44	1969	115	21	18.3	1,400	81	15	18.5	800	196	36	18.4	2,200
8	45	1970	118	24	20.3	1,400	78	10	12.8	600	196	34	17.3	2,000
9	46	1971	162	27	16.7	1,400	86	11	12.8	600	248	38	15.3	2,000
10	47	1972	128	24	18.8	1,400	80	10	12.5	600	208	34	16.3	2,000
11	48	1973	156	25	16.0	1,400	99	9	9.1	662	255	34	13.3	2,062
12	49	1974	143	29	20.3	1,500	77	8	10.4	700	220	37	16.8	2,200
13	50	1975	147	29	19.7	1,540	95	9	9.5	660	242	38	15.7	2,200
14	51	1976	171	26	15.2	1,400	89	9	10.1	600	260	35	13.5	2,000
15	52	1977	166	27	16.3	1,400	111	8	7.2	600	277	35	12.6	2,000
16	53	1978	161	26	16.1	1,400	120	9	7.5	600	281	35	12.5	2,000
17	54	1979	153	28	18.3	1,400	86	9	10.5	600	239	37	15.5	2,000
18	55	1980	152	28	18.4	1,400	103	11	10.7	600	255	39	15.3	2,000
19	56	1981	158	28	17.7	1,400	86	15	17.4	600	244	43	17.6	2,000
20	57	1982	135	25	18.5	1,390	110	13	11.8	600	245	38	15.5	1,990
21	58	1983	166	25	15.1	1,410	116	13	11.2	600	282	38	13.5	2,010
22	59	1984	168	25	14.9	1,400	119	14	11.8	600	287	39	13.6	2,000
23	60	1985	157	28	17.8	1,400	93	14	15.1	600	250	42	16.8	2,000
24	61	1986	158	20	12.7	1,400	87	14	16.1	600	245	34	13.9	2,000
25	62	1987	181	20	11.0	1,400	66	12	18.2	600	247	32	13.0	2,000
26	63	1988	187	21	11.2	1,470	72	14	19.4	700	259	35	13.5	2,170
27	平成1	1989	198	21	10.6	1,470	86	14	16.3	700	284	35	12.3	2,170
28	2	1990	191	20	10.5	1,400	85	12	14.1	600	276	32	11.6	2,000
29	3	1991	159	20	12.6	1,400	89	12	13.5	600	248	32	12.9	2,000
30	4	1992	176	20	11.4	1,400	90	12	13.3	600	266	32	12.0	2,000
31	5	1993	187	20	10.7	1,400	104	12	11.5	600	291	32	11.0	2,000
32	6	1994	215	20	9.3	1,400	80	12	15.0	600	295	32	10.8	2,000
33	7	1995	184	18	9.8	1,260	66	11	16.7	550	250	29	11.6	1,810
34	8	1996	186	16	8.6	1,120	71	10	14.1	500	257	26	10.1	1,620
35	9	1997	195	16	8.2	1,120	83	10	12.0	500	278	26	9.4	1,620
36	10	1998	180	16	8.9	1,120	81	10	12.3	500	261	26	10.0	1,620
37	11	1999	163	16	9.8	1,120	72	10	13.9	500	235	26	11.1	1,620
38	12	2000	155	16	10.3	1,120	72	10	13.9	500	227	26	11.5	1,620
39	13	2001	153	18	11.8	1,260	79	11	13.9	550	232	29	12.5	1,810
40	14	2002	143	13	9.1	1,300	62	8	12.9	560	205	21	10.2	1,860
41	15	2003	125	13	10.4	1,300	60	8	13.3	560	185	21	11.4	1,860
42	16	2004	174	14	8.0	1,320	49	6	12.2	420	223	20	9.0	1,740
43	17	2005	160	14	8.8	1,400	81	8	9.9	560	241	22	9.1	1,960
44	18	2006	200	14	7.0	1,400	121	12	9.9	840	321	26	8.1	2,240
45	19	2007	157	19	12.1	1,900	112	19	17.0	1,330	269	38	14.1	3,230
46	20	2008	186	20	10.8	2,000	143	21	14.7	1,470	329	41	12.5	3,470
47	21	2009	205	20	9.8	2,000	143	19	13.3	1,330	348	39	11.2	3,330
48	22	2010	234	19	8.1	1,900	153	18	11.8	1,260	387	37	9.6	3,160
49	23	2011	228	22	9.6	2,200	108	15	13.9	1,050	336	37	11.0	3,250
50	24	2012	155	18	11.6	1,800	123	20	16.3	1,400	278	38	13.7	3,200
51	25	2013	181	20	11.0	2,000	125	20	16.0	1,400	306	40	13.1	3,400
52	26	2014	226	27	11.9	2,700	118	21	17.8	1,470	344	48	14.0	4,170
53	27	2015	220	36	16.4	4,400	116	20	17.2	2,300	336	56	16.7	6,700
54	28	2016	284	39	13.7	4,700	116	17	14.7	2,100	400	56	14.0	6,800
55	29	2017	254	38	15.0	4,600	109	18	16.5	2,090	363	56	15.4	6,690
56	30	2018	262	41	15.6	4,880	128	18	14.1	2,180	390	59	15.1	7,060
57	令和1	2019	264	41	15.5	4,900	151	22	14.6	2,461	415	63	15.2	7,361
58	2	2020	233	42	18.0	5,000	118	23	19.5	2,600	351	65	18.5	7,600
59	3	2021	259	57	22.0	6,900	75	17	22.7	2,052	334	74	22.2	8,952
計			9,960	1,327	13.3	108,185	5,342	736	13.8	51,975	15,302	2,063	13.5	160,160

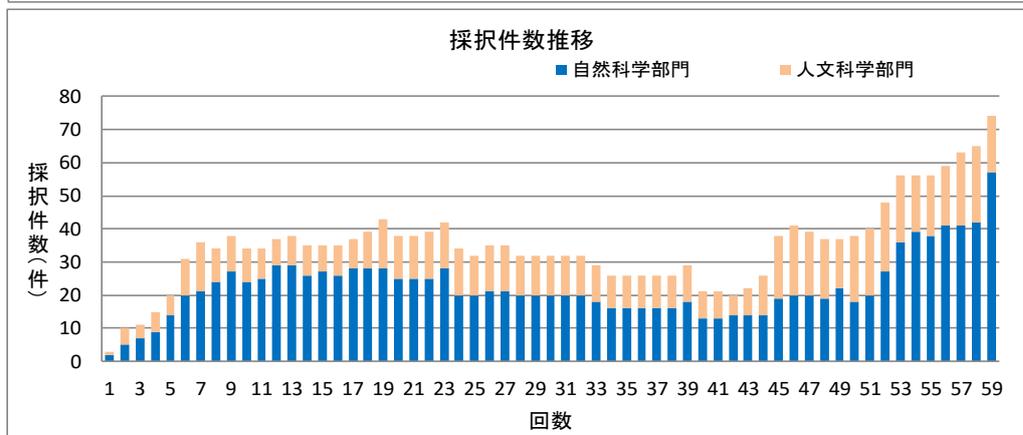
\*1 第53回(2015年度)より共同研究奨励金含む

(付図 1)

学術研究奨励金 助成推移 (共同研究含む第 53 回～、奨学金を除く)  
第 1 回(1963 年(昭和 38 年))～第 59 回(2021 年(令和 3 年))

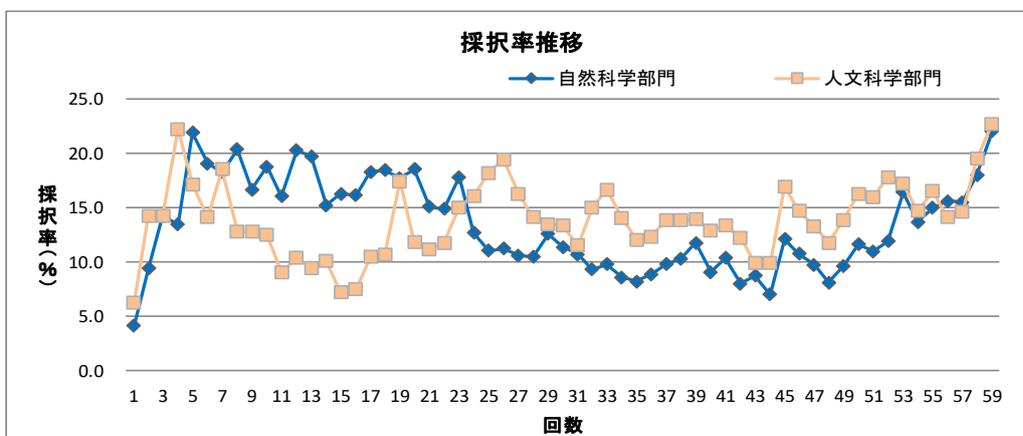


(2021年度)  
自然科学 259件  
人文科学 75件  
計 334件



(2021年度)  
自然科学 57件  
人文科学 17件  
計 74件

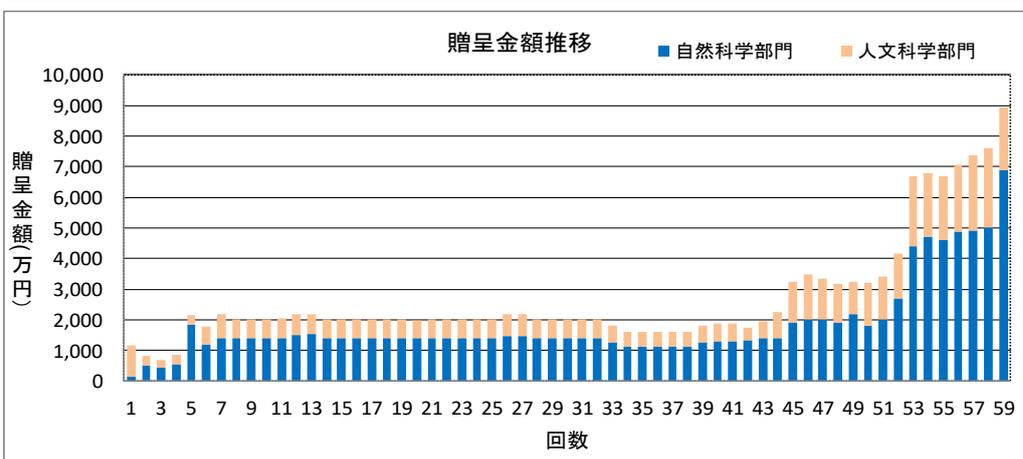
(累計)  
自然科学 1,327件  
人文科学 736件  
計 2,063件



(2021年度)  
自然科学 22.0%  
人文科学 22.7%

(平均採択率)  
22.2%

53回より  
自然・人文の1件  
当たり助成を  
同額にした  
(総額比率は変えず)



(2021年度)  
自然科学  
6,900万円  
人文科学  
2,052万円  
(合計)  
8,952万円

(累計)  
160,160万円

## 2. 業務及び職務の執行状況

2021年度の業務執行に関する事項は以下の通りです。

### 1) 評議員・役員・委員に関する事項

付表5、6（16、17ページ）をご参照ください。

### 2) 理事会・評議員会等に関する事項

#### (1) 理事会（開催回数：理事会6回開催）

回	開催日	決議事項	報告事項
第60回	理事会（通常）（一部リモート参加によるハイブリッド会議）		
	2月22日	第1号議案 第23回評議員会（定時）招集の件 第2号議案 2020年度事業報告及び附属明細書承認の件 第3号議案 2020年度財産・損益の状況及び附属明細書承認の件 第4号議案 評議員候補者推薦の件 第5号議案 任期満了に伴う理事候補者推薦の件 第6号議案 任期満了に伴う監事候補者推薦の件 第7号議案 任期満了に伴う顧問・名誉顧問選任の件 第8号議案 資産管理委員会規則改定の件 第9号議案 任期満了に伴う資産管理委員及びアドバイザー委嘱の件 第10号議案 事務局長選任の件 第11号議案 2020年度事業報告書等の提出書類承認の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 2020年度業務及び職務の執行状況報告 2. 2020年度資産管理状況及び2021年度資産運用について 3. 基本財産の株式等の議決権行使について 4. 60周年記念施策について 5. 贈呈式について
第61回	理事会（臨時）（決議の省略による方法）		
	3月15日	第1号議案 理事長（代表理事）選定の件 第2号議案 理事の役職選定の件 第3号議案 業務執行理事選定の件 第4号議案 理事長及び常勤理事の報酬額承認の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第62回	理事会（臨時）（決議の省略による方法）		
	4月6日	第1号議案 第10回（2021年度）三島海雲学術賞受賞者承認の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第63回	理事会（臨時）（決議の省略による方法）		
	6月10日	第1号議案 「第59回（2021年度）学術研究奨励金」贈呈者等承認の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第64回	理事会（臨時）（決議の省略による方法）		
	6月28日	第1号議案 「2021年度第I期学術活動支援」贈呈者承認の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第65回	理事会（通常）（一部リモート参加によるハイブリッド会議）		
	11月25日	第1号議案 第24回評議員会（臨時）招集の件 第2号議案 2022年度事業計画承認の件 第3号議案 2022年度収支（損益）予算承認の件 第4号議案 任期満了に伴う学術委員委嘱の件 第5号議案 資産管理運用規程改定および有価証券の運用基準設定の件 第6号議案 資産管理委員会規則改定の件 第7号議案 2022年度資産運用基本方針承認の件 <第1～4号及び7号議案は承認された。第5及び6号議案は継続審議となった。>	1. 2021年度業務執行状況（中間）報告 2. 2021年度資産管理状況について

(2) 監査(於 財団会議室)

1回	2月2日	1. 2020年度事業報告及び附属明細書に関する事項 2. 2020年度財産及び損益の状況及び附属明細書に関する事項
2回	9月29日	1. 2021年度事業並びに業務に関する事項 2. 2022年度事業計画案について 3. 2022年度収支(損益)予算案について

(3) 評議員会(開催回数:評議員会2回開催)

回	開催日	決議事項	報告事項
第23回 評議員会(定時)(決議の省略による方法)			
	3月5日	第1号議案 2020年度事業報告及び附属明細書承認の件 第2号議案 2020年度財産・損益の状況及び附属明細書承認の件 第3号議案 評議員選任の件 第4号議案 任期満了に伴う理事選任の件 第5号議案 任期満了に伴う監事選任の件 <評議員全員から書面による承認が得られた>	1. 任期満了に伴う顧問・名誉顧問選任について 2. 資産管理委員会規則改定について 3. 任期満了に伴う資産管理委員及びアドバイザー委嘱について 4. 事務局長選任について 5. 2020年度事業報告書等の提出書類について 6. 2020年度業務及び職務の執行状況報告 7. 2020年度資産管理状況及び2021年度資産運用について 8. 基本財産の株式等の議決権行使について 9. 60周年記念施策について 10. 贈呈式について
回	開催日	決議事項	報告事項
第24回 評議員会(臨時)(決議事項がなく、報告事項の書面送付・内容確認による方法)			
	12月10日		1. 2022年度事業計画について 2. 2022年度収支(損益)予算について 3. 任期満了に伴う学術委員委嘱について 4. 資産管理運用規程改定および有価証券の運用基準設定について 5. 資産管理委員会規則改定について 6. 2022年度資産運用方針について 7. 2021年度業務執行状況(中間)報告 8. 2021年度資産管理状況について

3) 学術委員会・選考委員会に関する事項

(1) 選考委員会(開催回数:自然科学部門4回、人文科学部門3回開催)

2021年度事業	1月19日	「三島海雲学術賞一次選考委員会」(自然科学部門) (書面による開催)	
	3月22日	「三島海雲学術賞二次選考委員会」(人文科学部門) (Web会議)	(1名選考)
	3月29日	「三島海雲学術賞二次選考委員会」(自然科学部門) (アスコット丸の内東京会議室をセンターとしたWeb会議)	(2名選考)

	5月26日	「学術研究奨励金」(人文科学部門) (書面により決議)	(個人研究16名、共同研究1件選考)
	6月2日	「学術研究奨励金」(自然科学部門) (書面により決議)	(個人研究54名、共同研究3件選考)
2022年度 事業	12月1日	「三島海雲学術賞一次選考委員会」(人文科学部門) (Web会議)	
	12月22日	「三島海雲学術賞一次選考委員会」(自然科学部門) (Web会議)	

(2) 学術委員会 (開催回数：自然科学部門1回、人文科学部門1回開催)

第1回 (自然)	10月20日	1. 2021年度助成事業の実績報告 2. 2022年度事業計画(案)について 3. 2022年度収支予算(案)について (一部リモート参加によるハイブリッド会議)
第2回 (人文)	11月1日	1. 2021年度助成事業の実績報告 2. 2022年度事業計画・予算(案)について 3. 2022年度収支予算(案)について (一部リモート参加によるハイブリッド会議)

(3) 贈呈式

新型コロナの感染状況を勘案し、従来の集合形式の贈呈式に代えて、7月7日に贈呈式ならびに三島海雲学術賞の受賞記念講演を収録し、7月20日からホームページ上にて公開しました。

2021年度の学術研究奨励金受贈者、三島海雲学術賞受賞者、学術活動支援採択は、付表1～3(5～9ページ)をご参照ください。

4) 資産管理委員会に関する事項

(1) 資産管理委員会

第34回	2月9日	1. 2020年度事業報告及び附属明細書に関する事項 2. 2020年度財産及び損益の状況及び附属明細書に関する事項 3. 2020年度資産管理状況及び2021年度の資産運用について (書面にて報告)
第35回	5月31日	1. 2021年度上期の資産運用状況について 2. 2021年度下期の資産運用の取り組みについて (書面にて報告)
第36回	10月13日	1. 資産管理運用規程等の改定および有価証券の運用基準の設定について 2. 2021年度資産管理状況 3. 2021年度内の資産運用について 4. 2022年度収益予算(案)及び2022年度資産運用ポートフォリオ目標について
第37回	12月17日	1. 不動産関連説明会 2. 米国ETF購入報告

(2) 資産管理運用の状況について

<2021年度資産管理運用状況の詳細は、別途報告します。>

5) 登記などに関する事項

2021年3月22日 役員(改選)及び評議員選任に伴う登記

## 6) 内閣府認定等委員会届出等に関する事項

月 日	届け・提出等
3月19日	2020年度事業報告等の提出
4月2日	役員変更の届出
12月17日	2022年度事業計画・収支予算の提出

## 7) 契約に関する事項

重要な契約締結はなし

## 8) その他の重要事項

### (1) 共同研究報告会

自然科学部門 10月20日 共同研究奨励金受贈 2019年度2件、2020年度2件

人文科学部門 11月1日 共同研究奨励金受贈 2018年度1件、2019年度1件

※自然・人文科学部門ともに学術委員会と同日開催。

新型コロナの感染状況を勘案し、リモートにより報告をいただきました。

### (2) 年次報告書の発行

11月4日	2021年度「年次報告書」発行／国際文献社	発行部数	350部
-------	-----------------------	------	------

注) 年次報告書には研究概要を掲載し、研究報告書は電子媒体にて保管。

### (3) 普及広報

学術研究奨励金及び三島海雲学術賞の贈呈式を収録し、7月20日からホームページで公開しました。

三島海雲学術賞の受賞・応募告知広告を7月31日あるいは8月1日に日経新聞(全国)と主要地方紙7紙に掲載しました。また、広報リリースによって一般紙6紙と食品専門紙5紙に記事掲載されました。

2021年度のホームページ延べ訪問者数は86千人(前年比95%)にとどまりました。

## 9) 新型コロナへの事務局業務対応

新型コロナの感染状況を踏まえて、常勤役職員は可能な範囲で在宅勤務も併用した勤務とし、出勤時には会議室等も活用して密にならない環境下での勤務としています。

## 10) その他の事項

2021年6月10日に財団の元評議員の工藤正氏をご逝去されました。工藤氏は、2008年1月から2021年3月まで評議員にご就任いただき、財団の発展にご尽力をいただきました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

以 上

(付表5)

## 評議員・役員・顧問 名簿

(2021年12月31日現在) 敬称略

職名	常勤・非常勤	氏名	現職
<b>評議員(11名)</b>			
評議員会 会長	非常勤	石毛 直道	国立民族学博物館名誉教授・元館長
評議員	非常勤	西川 孝純	元共同通信社論説委員長
評議員	非常勤	清水 孝雄	国立国際医療研究センター・プロジェクト長 東京大学医学部特任教授
評議員	非常勤	清水 誠	東京農業大学客員教授 東京大学名誉教授
評議員	非常勤	谷口 直之	大阪国際がんセンター研究所長 大阪大学名誉教授
評議員	非常勤	塚本 隆史	みずほフィナンシャルグループ名誉顧問 元みずほフィナンシャルグループ取締役社長・会長
評議員	非常勤	寺田 篤	元株式会社電通ラジオテレビ&エンタテインメント 局長
評議員	非常勤	羽田 正	東京大学副学長・東京カレッジ長 東京大学名誉教授
評議員	非常勤	濱田 正美	神戸大学名誉教授 京都大学名誉教授
評議員	非常勤	臺 誠	元カルピス株式会社取締役常務執行役員
評議員	非常勤	西村 秀豊	元カルピス株式会社取締役執行役員
<b>理事(9名)</b>			
理事長 (代表理事)	非常勤	今関 博	元カルピス株式会社取締役副社長
副理事長	非常勤	上野川修一	東京大学名誉教授
副理事長	非常勤	間野 英二	龍谷大学客員教授 京都大学名誉教授 日本学士院会員
理事	非常勤	山本 匠	元パンピー食品株式会社取締役社長
理事	非常勤	和田 一郎	牛嶋・和田・藤津法律事務所 弁護士
理事	非常勤	齋藤 芳男	元カルピス株式会社常務執行役員
理事	非常勤	時野谷 健	元カルピス株式会社常勤監査役
理事	非常勤	中村 長松	元公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
常務理事	常勤	山田 誠	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
<b>監事(2名)</b>			
監事	非常勤	打越 誠	中央日本土地建物株式会社顧問
監事	非常勤	齋藤 正三	齋藤会計事務所 公認会計士・税理士
<b>顧問(1名)</b>			
顧問	非常勤	太田 達男	公益財団法人公益法人協会会長
<b>名誉顧問(1名)</b>			
名誉顧問	非常勤	小林 公生	元カルピス株式会社取締役社長・会長

(付表6)

### 学術委員名簿

(2021年12月31日現在) 敬称略

職名	氏名	現職
<b>自然科学部門 (9名)</b>		
学術委員	上野川修一	東京大学名誉教授
学術委員	阿部 啓子	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 東京大学名誉教授
学術委員	伊藤喜久治	元東京大学教授
学術委員	清水 誠	東京農業大学客員教授 東京大学名誉教授
学術委員	谷口 直之	大阪国際がんセンター研究所長 大阪大学名誉教授
学術委員	難波 成任	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 東京大学名誉教授
学術委員	伏木 亨	甲子園大学副学長 京都大学名誉教授
学術委員	山本 直之	東京工業大学生命理工学院教授
学術委員	和田 俊	東京海洋大学名誉教授

### 人文科学部門 (6名)

学術委員	羽田 正	東京大学特任教授・東京カレッジ長 東京大学名誉教授
学術委員	赤松 明彦	京都大学白眉センター長 京都大学名誉教授
学術委員	岸本 美緒	お茶の水女子大学名誉教授
学術委員	小長谷有紀	日本学術振興会監事 国立民族学博物館客員教授
学術委員	坪井 善明	早稲田大学名誉教授
学術委員	中見 立夫	東京外国語大学名誉教授

### 資産管理委員・アドバイザー

(2021年12月31日現在) 敬称略

職名	氏名	現職
資産管理委員長 (理事)	時野谷 健	元カルピス株式会社常勤監査役
資産管理委員 (理事)	齋藤 芳男	元カルピス株式会社常務執行役員
資産管理委員	出塚 清治	税理士法人出塚会計事務所 公認会計士・税理士
資産管理委員	山田 和久	元カルピス株式会社健康・機能性食品事業部部長
資産管理委員 (理事)	山本 匠	元パンピー食品株式会社取締役社長
資産管理委員 (理事)	山田 誠	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
アドバイザー	柏原 延行	丸三証券株式会社常務執行役員 投資信託部長 チーフ・グローバルストラテジスト

## 附 属 明 細 書

### 1. 2021 年度事業報告の明細

- 1 2021 年度事業報告並びに
- 2 業務及び職務の執行状況において記載している。